

Dokkyo Medical University Saitama Medical Center

獨協医科大学埼玉医療センター 病院だより

2024.春
41号



● 主な内容 ●

ご挨拶	2
World's Best Hospitals 2024に選出されました	2
能登半島地震におけるDMA T活動報告会を開催しました	3
厚生労働省委託事業DPAT事務局より感謝状をいただきました	3
フードライブ贈呈式が挙行されました	4
埼玉県多様な働き方実践企業の認定（プラチナ認定）について	4
エコキャップ回収活動報告書	5
病院への手紙にお答えいたします	6

ご挨拶

病院長 奥田 泰久

新型コロナウイルス感染症が昨年5類になり、それ以来 After コロナ、With コロナの社会になりつつあります。現在も、当センター内には少数の感染患者が入院していますが、以前と比較して患者数や重症度は明らかに減少しており、院内の医療体制も徐々にコロナ以前に戻りつつあり、これまで以上に地域住民の方々の健康を守るためにいっそうの努力をしなければならないと考えています。しかしながら今年の4月からはいよいよ医師の働き方改革が始まりました。医師の健康（生命）を守る目的で、医師の労働時間が罰則付きで法的に大幅に制限されます。まだ始まったばかりで、医療全体に与える影響は不透明ですが、全国でも人口比当たりの医師数が最も少ない埼玉県で、医療体制の崩壊を防ぐ為に、懸命に時間を惜しまず働いている医師等の労働時間を制限した改革を順守した場合、現状では診療体制には明らかにマイナスになる法令だと思っております。そのため、これからはいかに地域住民の方々に、ご迷惑をかけないように、医師の勤務体制を含め様々な対応をしなければならないと考えております。

少子高齢化、医療費抑制、医師過剰時代等、医療を取り囲む環境は年々厳しくなっています。特に年々進行する高齢化社会に、当センターが十分に対応できる医療体制を築くために日々、検討し目標に向かって精進して行きますので、これまで同様に何卒、ご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。



World's Best Hospitals 2024 に選出されました

米国週刊誌「Newsweek」による、世界基準の優良な医療機関を評価したランキング「World's Best Hospitals 2024」の日本版に当センターが40位（昨年度43位）に選出されました。

World's Best Hospitals 2024 は、世界中の優れた医療機関を表彰しており、30ヶ国における病院が対象となっております。このランキングは医療関係者による病院の推薦や患者さんの利用満足度調査、医療 KPI：患者の安全対策、衛生対策、治療の質などにより評価されております。

今後も引き続き職員一丸となり、皆さまに信頼される医療機関を目指してまいります。

ランキングの詳細はこちらです。

<https://www.newsweek.com/rankings/worlds-best-hospitals-2024/japan>

能登半島地震におけるDMA T活動報告会を開催しました

埼玉医療センター庶務課

令和6年3月7日（木）、4号館大会議室において能登半島地震の被災地に派遣された災害派遣医療チーム（DMA T）の活動報告会が開催されました。

当センターのDMA T（5次隊）は赤岩医師（脳神経内科）、上笹貴医師（救急医療科）、安藤看護師（救命病棟）、森看護師（F7病棟）で構成され、1月12日（金）～17日（水）の期間に石川県珠洲市へ派遣となり、主に珠洲総合病院での病院支援業務を行いました。

報告会では、初めに松島救命救急センター長（災害対策委員長）から地震発災時から当センターDMA Tチームが出発するまでの準備、被災地に到着してからの状況など全体的な経緯についてご報告がありました。続いて、森看護師、安藤看護師から被災地の過酷な環境での具体的な活動内容や業務を通して学んだこと、今後の課題などのご報告がありました。

次に自然災害や、犯罪事件などの集団災害の後、被災地域に入り精神科医療および精神保健活動の支援を行う専門的なチームである災害派遣精神医療チーム（DPAT）の事務局次長として活動した、五明医師（救急医療科）から、DPAT事務局本部立ち上げから、実際の活動内容など時系列に沿ってご報告がありました。

今回の報告会により、本派遣で得た経験を振り返ることで、次の派遣の機会に活かしていくと共に、当センターとしてのDMA T並びにDPATの活動を教職員間で共有することができました。今後も災害対策に努めていきたいと思っておりますので、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



厚生労働省委託事業 DPAT 事務局より感謝状をいただきました

令和6年1月に発生した石川県能登半島地震において、DPAT事務局支援および石川県DPAT調整本部への当センター五明医師（救急医療科）の派遣に対し、厚生労働省委託事業DPAT事務局より感謝状をいただきました。同医師は甚大な被害に遭われた多くの被災者の方に精神科医療を通して被災地支援に多大に尽力されました。

今後も当センターとしては、DPATの災害時精神医療保健活動を支援していきます。



フードドライブ贈呈式が挙行されました

埼玉医療センター庶務課

令和6年1月22日（月）、4号館第2会議室においてフードドライブ贈呈式が挙行されました。フードドライブとは、ご家庭等で余っている食品を集めて、フードバンクや子ども食堂、フードパントリーなどに寄付する活動です。本件は埼玉県と明治安田生命保険相互会社が包括連携協定を結び、食べ物が廃棄されるフードロスの削減や、子どもの貧困問題などの課題解決の一環として取り組んでいるものです。

当センターは、県から災害時に重症患者を受け入れる「災害拠点病院」に指定されており、常時3日間の食料を備蓄しておりますが、非常食にも賞味期限があることから有効活用について検討していたところ、同生命の呼びかけもあり、地域への貢献およびSDGs目標も踏まえ、NPO法人地域こども包括支援センターに、当センターで備蓄している災害備蓄米（アルファ米）を2,900食贈呈いたしました。

贈呈式には奥田病院長、玉野副院長、吉富副院長、町田副院長、橋本副院長、松島災害対策委員長、上野薬剤部長、赤坂事務部長、明治安田生命埼玉東支社長、埼玉県福祉部少子政策課副課長、NPO法人地域こども包括支援センター理事長が出席されました。

贈呈を受けた出席者からはフードドライブ事業の意義についての説明や貴センターのような大きな団体がフードドライブに貢献していただき感謝いたしますとのご発言があり、それに対し、奥田病院長より「東部地域の医療はもとより、今後はこのような活動でも地域に貢献していきたい。本活動に加わせていただいたことに感謝申し上げます。」とご挨拶をいただきました。

今後とも様々な活動をとおり、地域の皆さまに信頼される医療機関を目指してまいります。



埼玉県多様な働き方実践企業の認定（プラチナ認定）について

埼玉医療センター職員課

このたび、埼玉医療センターが「埼玉県多様な働き方実践企業」に認定されました。（プラチナ認定）

この制度は、仕事と家庭の両立を支援するため、多様な働き方を実践している企業等を県が認定するものです。県は基準を満たす企業等を認定し、働きやすい企業として、ホームページ等で広くPRしています。

当センターでは、出産した女性職員の仕事復帰1年後の継続就業率が80%を超え、管理職（課長相当職以上）の女性比率が27.3%（全国平均12.7%）に達するなど、特に女性が働きやすい職場となっております。

今後も、男女がともにいきいきと働ける職場環境づくりを目指してまいります。



エコキャップ回収活動報告書

拝啓 貴院におかれましてはますますご隆昌のこととお慶び申し上げます。

平素より、格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

エコキャップ回収活動について下記のとおりご報告いたします。

今後も本活動に係わらず協力を惜しまず対応いたしますので、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 期間： 2022年9月27日～2023年11月13日
2. 個数(重量)： 5,822個(13.54kg)
3. ポリオワクチン換算： 約6.75人分

以上

キャップ実績レポート

このたびは「キャップの貯金箱推進ネットワーク」の活動にご協力頂きましてありがとうございます。皆様の温かいお心に感謝申し上げます。

■今回のご提供キャップ (2023/11/13 分) (回収分)

重量	個数(概算)	預かり寄附金
13.54 kg	5822 個	135 円
ワクチン種類	一人分の価格	合計
ポリオ(小児麻痺)	約 20 円	約 6.75 人分

※ 1kg = 約 430 個 = 約 ¥10 の計算になります。

上記の数値はご提供いただいたキャップを売却した際の数字ですので市場動向により変動することがあります。また、ワクチンはポリオ以外にBCG(約¥7)・はしか(¥95)・MMR(約¥114)・DPT(約¥9)など、あります。寄付金額(重量×10円)は一時お預かりしたあと、後日「世界の子どもにワクチンを日本委員会」様に送金いたします。

CO ₂ 換算	42.65 kg	の削減に繋がりました。
--------------------	----------	-------------

※ CO₂の換算方法は、キャップ1kg(約430個)をごみとして焼却するとCO₂が3150g発生しますので、重量(kg)×3150gで計算しています。

■これまでの合計

総重量	1592.60 kg
-----	------------

■障がい者施設からのお礼

皆さんのおかげで楽しくお仕事をしています。ありがとうございます。

柏の葉（立川市） 天成舎（国立市） こだち（狛江市）
おおやま（板橋区） バオバオ（東久留米市）



今後とも「キャップの貯金箱」運動にご協力いただけますようよろしくお願い致します。

特定非営利活動法人
『キャップの貯金箱推進ネットワーク』

※排出権価格・石油量・原油価格の換算について
価格の変動が多いため、換算値の計算が難しいので、今回からは表示していません。申し訳ございませんが、ご了承ください。

病院への手紙にお答えいたします ~ 2024 年春号 ~

* 駐車場の整備について

駐車場を整備してほしい。

お答えいたします

駐車場について当院は、東武線・JR 線の駅に近く、路線バスが病院前で発・到着するなどアクセスの利便性を確保しています。一方、その立地条件等により自院での患者さん専用駐車場の確保は困難な状況であります。駐車場の増設等ではなく、なるべく公共交通機関を利用していただく方針です。
(庶務課)

* 空調について

空調についてですが、エアコンを効かせてください。体調不良になります。

お答えいたします

外気温度により設定温度を調整しております。快適な温度設定管理に努めます。
(施設課)

* 入院の際のシャワー時間について

眼の手術を伴う、入院の際はシャワー時間を長くしてほしい。

お答えいたします

患者さんの希望で予約をする際、脱衣からシャワールームを出るまでの時間が 30 分であることをお伝えしています。眼科患者さんの見え方の問題もあり時間を要してしまうことを配慮した時間設定ではありませんが、シャワーを希望する患者さんも多くいるため、シャワー時間を延長することは難しい状況です。そのためシャワーを予約する際に、温度調節の方法やシャワーヘッドの位置の説明を具体的に患者さんへ説明する事として配慮しております。
(看護部)

* 食堂や休憩所について

食堂がなく、食事に困る。また、コンビニ等で購入した物を食べる場所がないので、食堂や休憩所の設置をしてほしい。

お答えいたします

貴重なご意見をいただきありがとうございます。食堂や休憩所等については、現在、スペース確保が困難な状況です。気候により、使用できない場合等ありますが、中庭のベンチのご案内のみとなっております。
(庶務課)

* 入院生活中の枕について

枕が高く、寝心地がよくないため、高さを選べるようにしてほしい。

お答えいたします

貴重なご意見をいただきありがとうございます。入院患者さんが使用する寝具類で現在提供できる枕については、1種類のみとなっております。各病棟の枕等を格納するスペースの都合があり、高め・低めといった様々な種類の枕が置けないのが現状です。ご理解いただけますと幸いです。
(永久)

* 病棟へのワゴン販売をしてほしい。

病棟にワゴン販売をしてほしい。また難しい場合は、紙に書いて依頼できるようにしてほしい。

お答えいたします

貴重なご意見ありがとうございます。病棟へのワゴン販売をご希望とのことですが、患者さんの現金管理の問題、人員確保の問題、そして多くの入院患者さんがいることから、個々のご要望を受け付けることが困難な状況です。ご理解の程よろしく願いいたします。
(庶務課)

* 麻酔・耳鼻咽喉・頭頸部外科・看護部・薬剤部・ハウスキーパー（お礼）

初めての手術で不安でしたが、主治医、看護師の皆様、スタッフの皆様に本当によくいただきました。ありがとうございました。手術当日、清掃スタッフの方や手術室まで案内して下さった看護師さんの優しいお声かけにも事務的ではないお心遣いを感じて嬉しかったです。看護師の皆様、薬剤師、麻酔科医の方、スタッフの皆様、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

* 眼科・看護部・栄養部・ハウスキーパー（お礼）

眼科にて人生で初めての入院・手術をしました。緊張や不安でいましたが、病室の設備・備品も想像以上に良く揃えられており、助かりました。清掃についても良く行き届いており、食事もとても美味しかったです。何よりも医師・看護師の皆さんの接遇・対応がとてもよく、救われました。感謝致します。大きな大学病院等はずっと事務的でつれないイメージがありましたが、感じよく接していただきました。非日常で不自由な入院生活で余裕の無い状態でしたが、変わらず接遇良く対応していただき、お礼申し上げます。貴重な経験となりました。今後また何か病気に罹患した際は、こちらの病院にお世話になりたいと思います。その際は、よろしく願い致します。

* 乳腺科・看護部・栄養部（お礼）

F5 病棟にて大変お世話になりました。食事が毎回温かく、とても美味しくいただきました。先生方、看護師の方々、日々激務で大変だと思いますが、温かい看護をいつもありがとうございます。これからもよろしく願いいたします。

* 病院への手紙について

患者さんから寄せられる「病院の手紙」につきまして、病院長をはじめとする当院幹部役職者が目を通したうえで、該当部署において対応などを検討しております。

また、隔月開催している医療サービス委員会において改善案の計画・立案を行っておりその中で改善できるものは早急に対応し、検討を要するものは少しでも患者さんのご要望にお応えできるよう日々努力しております。なお、いただいたご意見、ご要望について個別に文書やメール等で回答はいたしておりませんので、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

皆様からのご意見、そしてその回答については、この病院だよりを通じて一部ご紹介させていただきますが、それ以外のものにつきましても、現状において可能な限り然るべき対応を行っていることをご理解賜りたいと思います。

